

2023年度 学校法人関西大学 予算の概要

1 予算について

2023年度予算および事業計画は、2023年3月30日開催の理事会において承認されました。

2023年度は、「関西大学DX推進構想」に基づき、引き続き「考動力」と「革新力」を育む教育の実践、インクルーシブな教育の推進、学修成果の可視化と学修者本位の教育の実現などに取り組んでまいります。

また、「SDGsとカーボンニュートラル」について継続して推進するとともに、来るべき「2025大阪・関西万博」にも積極的に関わっていくなど、関西大学のブランド力を絶え間なく向上させてまいります。

2023年度の事業計画は、「2 事業計画の概要」のとおりです。財政基盤を強化しつつこれらの諸事業を推進するため、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証して、限られた財源の有効活用を徹底することとし、「4 収支予算の概要」のとおり予算を編成しました。

2 事業計画の概要

2023年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

ア 学部における教育改革の推進

商学部では、高度な金融知識を有する人材の育成や金融リテラシーの向上を目的として、ファイナンス特別プログラムを創設し、新たに金融機関でのインターンシップを科目として新設します。

人間健康学部では、国際化のさらなる推進のため、インドネシアに

あるディアナ・プラ大学が提供する「サマーキャンプ」プログラムを活用した科目「人間健康学海外研修(インドネシア)」や、海外の言語・文化・特色などを英語で学ぶ「国際健康福祉論」を新設します。

また、システム理工学部では、実践的な知識と技術を有するデータサイエンティストの育成を目指し、企業との連携によるデータサイエンス教育を目的とした教育研究型インターンシップを実施します。

イ Global Smart Classroomを活用したハイフレックス型授業の推進

「関西大学DX推進構想」に基づき、インクルーシブキャンパス実現の一環として、デジタル技術を活用し、キャンパスや国・地域を越えてオンラインでつながることができるGlobal Smart Classroom(GSC)を全キャンパスに設置しています。各キャンパスのGSCをつなぐことで、所属キャンパス以外で開講される授業でも、バーチャルでありながら臨場感を失うことなく積極的に参加できる教育環境を構築し、FDや教育効果の評価などを織り交ぜつつ、対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型授業を推進します。また併せて、GSCを利用する教員が機器を使いながら円滑に授業を展開できるよう、技術支援体制を構築します。



【GSCでのハイフレックス型授業の様子】

ウ SDGs推進プロジェクトに係る取り組みの実施

「関西大学SDGsパートナー制度」を基軸に、パートナー企業・団体と産官学の多種多様な取り組みをさらに加速させます。さらに、2023年度からは、「関西大学SDGsラーニングプログラム」を導入し、教育面の推進を図ります。このプログラムは、SDGsに代表される社会課題の解決に関するテーマについて、学生一人ひとりに学びの意欲を促進することを目的としたもので、共通教養科目の指定科目および正課外のSDGsに関する実践的なプログラムで構成し、修了者にはデジタル証明(オープンバッジ)を発行するものです。また、連携協定校でありSDGsパートナーでもある法政大学と協力しながら、2022年度の実績をもとに、SDGs WEEKsやアクションプランコンテストの展開・充実を進めます。

エ カーボンニュートラル研究センターにおける情報発信の強化

カーボンニュートラル研究センターは、カーボンニュートラルに関する学内外への情報共有・発信を行い、取り組みを全学的に推進するプラットフォームとして、2022年10月に設置しました。

学内に対しては、企業などから寄せられるニーズに基づいた共同研究のマッチングや国等委託事業などの情報を積極的に配信し、社会連携・研究推進に資することで研究の高度化・実用化を目指します。

また、学外に対しては、センター研究員の研究成果をウェブサイト上で随時発信するとともに、2023年度は千里山キャンパスまたは梅田キャンパスにおいて成果発表会を開催します。さらに、国などの機関・外郭団体との連携を強化し、情報の収集と新たな研究チームの編成を目指します。

オ アントレプレナーシップ醸成プログラムの深化

梅田キャンパスにおいて、学生の起業家マインドを育むために企業と連携して実施しているアントレプレナーシップ醸成プログラム「HACK-Academy」のより一層の充実のため、目的を事業化実現に特化した「インキュベーション・プログラム(「HACK-Academy」参加者から選抜された本学学生に対する、専門家による人的支援、起業資金などの経済的支援)」を継続して実施します。また、イノベーション創生センターにおいて、若手起業家によるトークセミナーおよび新規事業立ち上げなどに積極的な企業を訪問する企業見学会、ビジネスアイデアコンテスト「SFinX」などを継続して実施します。さらに、スタートアップ支援に関係する部局での連携を強化し、事業を深化させることにより、学園全体で「アントレプレナーシップ醸成」を推進します。



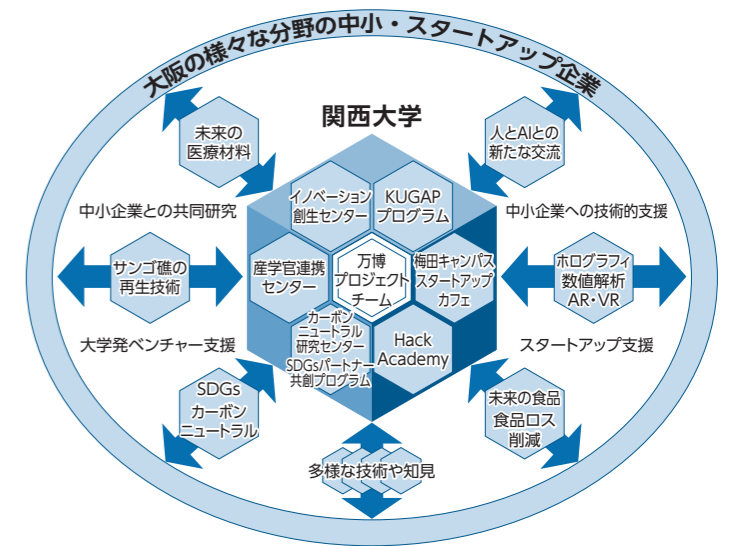
【HACK-Academy 事業モデル発表風景】

カ 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けた協力・推進

2025大阪・関西万博において、本学が大阪にある大学としての存在感を示すとともに、学生・生徒などにとってかけがえのない経験を提供するために、「2025大阪・関西万博に向けた協力・推進プロジェクト」を中心に諸施策を検討し実行します。

具体的には、「TEAM EXPO 2025」プログラム共創パートナーとして、本学で取り組む共創チャレンジの加速、大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」の展示(リボンチャレンジとして認定された本学の事業計画「Academia×REBORN～学理と実際の調和」)に係る設計、および、万博期間に併せて本学キャンパスで実施するプログラム「万博Weeks(仮称)」の企画立案を行います。

また、引き続き、本学の研究・教育の成果を生かしてテーマパビリオン、企業パビリオンなどに参画するためのアクションを行うとともに、次代を担う学生・生徒の参画を促進する方策を計画します。



【「Academia×REBORN～学理と実際の調和」事業スキーム図】

